

各種商品卸売業における死亡災害事例（1999-2020年）

年	月	発生時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
1999	1	11 ～ 12	同僚運転の助手席に乗り、得意先の年始回りの途中、県道において前方に止まっていたトラックの後部に脇見運転により激突した。	231	17	10 ～ 29
1999	5	6 ～ 7	得意先へ荷物を配達するために事業場の倉庫で商品を積み込む作業をしていたところ、後方より走行してきた乗用車に追突され約3m飛ばされた。	231	17	1～ 9
1999	7	16 ～ 17	2トン保冷車で走行中、センターラインをはみ出して対向の12トン大型貨物自動車と正面衝突した。	221	17	1～ 9
1999	6	0 ～ 1	靴売り場の照明器具を移動するため、脚立に乗って天井に取り付けてあるコンセントを外す作業を行っていたときに、体のバランスを崩し2、1m下に転落した。	371	1	10 ～ 29
1999	6	8 ～ 9	営業で車を運転していて、前のトラックを追い越して前に出ようとしたところ、雨のためタイヤがスリップして左側のガードレールに衝突したところへ、後方からきたトラックに追突された。	231	17	10 ～ 29
1999	10	8 ～ 9	製品倉庫で出荷の準備をしていて、1階エレベーター前の床面で頭部より血を流して倒れているのを同僚に発見された。	214	1	10 ～ 29
		18	プラットフォームでフォークリフトをバックで運転していたときに、高さ			100

2000	3	～	4cmの車止めを乗り越えて81. 5cmの高さのプラットホームの端から 19 フォークリフトごと転落し、ヘットガードに胸を挟まれた。	222	1	～
2000	7	14 ～ 15	軽トラックの保冷車で魚を客先に卸しに行った帰路に、国道でバスと激突 した。	221	17	1～ 9
2000	1	11 ～ 12	古紙等を圧縮・梱包する機械のコンベアにダンボール古紙を投入する作業 中に機械のホッパにダンボールが詰まったため、センサーにより一時停止 したコンベア上を歩いて昇り上部投入口からダンボールを取り除こうとし たときにバランスを崩してホッパ内に段ボールとともに転落し、詰まりが 解消したことをセンサーが検知して圧縮用ピストンも作動し始めたため古紙と ともに押し潰された。	169	1	1～ 9
2000	8	4 ～ 5	大型トラック(10tで)高速道路を走行中3. 7キロ前方で発生した事故のため 渋滞していた最後尾の大型トラック(9. 5t)に追突し、5台(後方からトラッ ク3台(10t、4t2台、普通車)の玉突き事故となった。5台の真中の4トント トラックの運転手が首に軽傷を負った。	221	17	1～ 9
2000	8	4 ～ 5	大型トラック(10tで)高速道路を走行中3. 7キロ前方で発生した事故のため 渋滞していた最後尾の大型トラック(9. 5t)に追突し、5台(後方からトラッ ク3台(10t、4t2台、普通車)の玉突き事故となった。5台の真中の4トント トラックの運転手が首に軽傷を負った。	221	17	1～ 9
2000	8	13 ～ 14	自動車道を営業車で走行中、追い越し車線に進路変更してきた先方の軽自 動車が接触し、はずみで右側ガードレールの開口部から約20m下に転落し た。	231	17	30 ～ 49
2001	1	11 ～ 12	海上に係留中の船に食料品を運ぶため船長ら5名とともに出港し、到着後、 右舷中央部から降ろされた昇降用のタラップに乗り移るため船首に立って いたときに、大波を受け海へ転落した。	239	10	30 ～ 49
2001	5	5 ～ 6	トラックで得意先へ商品を配達中に、道路上にいたドラグショベルに追突 した。	221	17	50 ～ 99

2001	2	0 ～ 1	出張中、車で食事に向かう途中で信号機の無い交差点で他の乗用車と衝突し、その弾みで民家のブロック塀に激突した。	231	17	100 ～ 299
2002	12	20 ～ 21	物流センターの一階倉庫（主に酒類置場）において、フォークリフト（オーダーピッカー）を使用して商品ラック4段目にあった商品を取ろうとしていたときに、運転席（高さ3.04m）からコンクリート製の床面に墜落し頭部を強打した。	222	1	100 ～ 299
2003	6	5 ～ 6	中央市場の水産棟卸売場において、セリ人に付いて記帳している最中に気分が悪くなったのでセリ場を離れて休んでいたが、やがて倒れこんで意識がなくなりくも膜下出血により死亡した。	911	90	50 ～ 99
2004	12	5 ～ 6	2t保冷車で国道を走行中、対向車線を走行していたトラックが車線をはみ出し、保冷車と正面衝突した。	221	17	1～ 9
2004	2	13 ～ 14	パソコンサポートカウンターにおいてアルバイトに対する稼働計画を作成中、床に倒れ意識を失った。	911	90	50 ～ 99
2005	4	13 ～ 14	トラックで走行中に、信号のある交差点においてワゴン車と出会い頭に衝突した。	221	17	1～ 9
2005	5	9 ～ 10	ワンボックスカーで走行中、山側から石が落ちてきて、車の屋根を直撃・貫通して被災者に激突した。	711	4	30 ～ 49
2005	10	9 ～ 10	軽ワゴン車で国道を走行中、交差点で、赤信号で停車していたトラックに追突した。	231	17	10 ～ 29
2006	7	14 ～	営業中の被災者が運転するライトバンが、県道脇の電柱に衝突し身体を強打した。	231	17	50 ～

		15				99
2008	11	8 ～ 9	バッテリーフォークリフトで荷の搬送作業中、パレット上の荷崩れ状態を確認するためにフォークリフトのヘッドガードの上に乗り確認した。その後フォークリフトの運転席前部に足をかけ降りようとしたところ、足を滑らせ転落してティルト後傾の操作レバーの上に臀部が乗ったことで、運転席側に動いたバックレストとヘッドガードの間に頭をはさまれた。	222	7	10 ～ 29
2008	4	14 ～ 15	被災者は、商品を納品するために会社のワゴン車で納品先へ向かう途中、国道バイパス交差点で対向車線からスリップして飛び出してきたトレーラーと衝突して死亡した。	231	17	10 ～ 29
2010	5	15 ～ 16	被災者は単独で建材倉庫内において廃材の分別、廃棄作業中、倉庫内の棚さんに足をかけた際、高さ82cmから墜落し、コンクリート面に頭部を打ちつけ死亡したもの。	418	1	10 ～ 29
2010	7	16 ～ 17	被災者は、配達後に注文書をリーダーに渡そうと指定のコンビニに向かってトラックを運転中、エアコンの調子が悪く、梅雨明けの高温高湿であったため、車内の温度が上昇して気分が悪くなった。体調を回復させようと近くのコンビニ駐車場にトラックを停めて車両から降りようとした際、崩れ落ち意識を失った。病院に搬送されるも翌日に熱中症により死亡したもの。	715	11	50 ～ 99
2010	8	10 ～ 11	都市高速の出口から国道へ入る際、わき見運転により道路を外れて橋脚に衝突し死亡した。	231	17	1～ 9
2013	11	23 ～ 24	作業場へ向かう途中、被災者が運転するワンボックスカーが停止していたトラックに追突し、被災者は死亡した。尚、トラックは故障して車線上で停止していた。	231	17	10 ～ 29
2014	5	11 ～ 12	廃品回収品をトラックから荷下ろす作業を行っていた際、被災者がトラックの荷台上で作業し、同僚が地上で荷の整理をしていたところ、被災者がトラックの後方で倒れているのが発見された。尚、ヘルメットは未着用であった。	221	1	10 ～ 29

2016	10	12 ～ 13	社用車にて、客先へ配達中、雨が降っていて道路の轍に水たまりができており、その上で車がスリップし、右側に滑った後左側に横転した。	231	17	10 ～ 29
2017	10	8 ～ 9	塗装工事現場において、店舗屋上の明り取り（トップライト）の施工方法について打ち合わせに来た元請事業場の営業職である被災者が、同明り取りのガラス部を踏み抜き、7 m下の床に墜落した。	415	1	1～ 9
2018	12	21 ～ 22	横断歩道を歩行中に右方から走行してきた車に激突され死亡したもの。	231	17	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_03.htmlに戻る。